

## 自身2度目の出場となった 全国ジュニア五輪

「全国指折りの選手が集まる大舞台でまた泳ぐことができて、とても楽しかったです」と、平成30年8月の全国JOCジュニアオリンピックカップを振り返る山本さん。

得意種目の50<sup>リ</sup>自由形で、初めて出場した平成30年3月の同大会では、決勝に進むことができずに悔しい思いをしたという山本さんは、その悔しさをバネに、日々の水泳の練習に取り組み、出場した北海道大会で、次々と自己記録を更新して優勝。2度目の全国JOCジュニアオリンピックカップの出場を決めました。

優勝を目指して今大会に臨んだという山本さんは、「水の抵抗を少なくする泳ぎ方などの技術的な部分やコンマ数秒の世界で一つのミスも許されないような精神的な部分について、たくさんの課題が見えてきました」と試合結果を冷静に受け止め、さらなる高みを目指します。

## 家族やコーチに支えられて

10月と11月にも全国大会を控え



▲一日の練習で、平均5,000<sup>リ</sup>を泳ぐ山本さん

ている山本さんは、この1年間、週5日の練習をほぼ休まず続けています。タイムを縮めるため、山本さんが所属する『JSS登別スイミングスクール』の越田元<sup>こしたはじめ</sup>コーチの指導のもと、フォームの改善と基礎練習の反復に取り組んできました。「水泳が好きだから練習を続けてこられたし、今は何より、練習の成果がタイムで確認できるので楽しいです」と山本さんは笑顔を見せます。

普段の生活でも、フォームの研究や水泳に必要な筋力トレーニングのほか、体作りのための食事にも意識が向くようになり、家族やコーチに支えられながら、これからも山本さんは記録の更新を目指します。

「高校生になったら全国大会でさらに活躍したい」と山本さんは、今後の意気込みを語ってくれました。

# き ら り

KIRARI

やまもと まひろ  
**山本 麻尋**さん(千歳町)

世界を目指す若手水泳選手の登竜門『全国JOCジュニアオリンピックカップ』。平成30年8月に東京都で開催された同大会の50<sup>リ</sup>自由形(13~14歳区分)で、自己ベスト24秒85を叩き出し、5位入賞を果たした山本麻尋さん。

今号では、数々の全国大会に出場し、優秀な成績を残す山本さんに、今大会の感想や今後の目標などについて話を聞きました。

## 泳いでいるときが、 何よりも楽しい



平成15年、登別市生まれ。14歳物心が付く前からベビースイミングで水と親しむ。JSS登別スイミングスクールに所属する幌別中学校3年生。身長は2年間で20<sup>センチ</sup>伸びて177<sup>センチ</sup>。得意な泳法はクロール。